

第2期御嵩町観光基本計画（案）に関するパブリックコメント実施結果

1. 実施期間 令和4年2月10日（木）～令和4年3月1日（火）

2. 意見の提出状況

①提出者数 ： 2名

②意見数 ： 9件

3. いただいたご意見と町の考え方

番号	該当箇所	提出いただいたご意見の概要	町の考え方
1	29 ページ	御嵩町の観光入込客数約40万人のうち、約70%を占めるゴルフ場利用者にターゲットを絞った施策。例えば、特産品（みたけのええもん）の紹介コーナーを設けてもらい、利用者に販売をしてはどうか。	観光入込客の多くを占めるゴルフ場利用者に向けた取組みは課題とするところであり、いただいたご意見や他の自治体の取組みも参考に検討して参ります。
2	41 ページ	前期の計画では、施策毎の各年度に実施する推進スケジュールが明記してあったが、今回の基本計画では計画期間5年間でどう取り組んで、5年後に達成に向けて各年度の具体的スケジュールが示されていないので、計画性に欠けるのではないか。	<p>第2期計画においては、P41において基本方針ごとに取り組む施策を掲げ、P42以降には、更に施策ごとに取り組むべき事業等を掲げる形にまとめました。これら施策推進のための具体的取組みにあっては、ブラッシュアップしながら継続して実施するもの、計画期間中に検討していくもの、新たに実施していくものが混在しており、施策ごとのスケジュールでは全て計画期間を通した取組みとなることから明記しませんでした。</p> <p>本計画においては、新型コロナウイルス感染症の影響が不透明なこともあります。いつ、何をやるかより、どう工夫すれば効果的な事業が展開できるかに重点を置いて、本町の観光行政を推進して参りたいと考えています。</p>

3	41 ページ～ 44 ページ	<p>中山道、願興寺という歴史的資源を活用した観光推進もいいが、宿場町の人々の生活を現した新しいイベントを興し、それを連年重ねることによる「新しい歴史」を作る観光施策も考えたかどうか。</p> <p>例として、富山県の越中八尾の「おわら盆」の盆踊りを招くことはできないだろうか。御嶽宿の宿場の雰囲気と八尾の宿場の雰囲気とは似ていて、あの静寂な踊りは御嵩にピッタリだと思う。</p> <p>2例目は、夏のカーニバルです。この地域には、日系ブラジルの方が多く住んでおり、リオのカーニバルを真似たらどうか。旧 21 号を通行止めにして、カーニバルには地元高校生の被服科のファッションショーなども加えたらどうか。</p>	<p>「中山道」及び「願興寺」という歴史的な資源は、御嵩町にとって大きな柱となるものです。現在も国史跡である「中山道」では定期的な修繕や除草等の維持管理をおこなっているほか、重文「願興寺本堂」についても、平成 29 年から令和 8 年までの 10 年をかけて、全解体修理工事がおこなわれています。かつては、こうした資源を「保存」していくことに主眼が置かれていましたが、近年では「活用」ということが叫ばれるようになり、当町でも観光資源として活用できるよう施策を進めているところです。</p> <p>活用にあたっては「中山道」及び「願興寺」という 2 つの大きな観光資源をもとに、いただいたご意見も参考とさせていただき、様々な手法で広く展開を図っていくよう努めていきたいと考えております。</p>
4	41 ページ～ 44 ページ	<p>願興寺祭礼の際に、景品付きお札を販売したら、お祭りがもっと盛り上がるのではないだろうか。500 円のお札で、景品はテレビなどとする中津川の西宮神社の七日市を真似たらどうか。</p>	<p>かつては可児郡一円で代表的な祭事だったという御嵩薬師祭礼も、近年では来場者が減少しています。その要因は様々考えられるところですが、祭りの賑わいも含め、岐阜県の重要無形民俗文化財にも指定されている本祭礼を後世へと伝えていくためには、中心となる薬師祭礼保存会の活性化を図りながら、御嵩町の代表的な祭りであることを周知していくことが必要であると考えています。</p> <p>いただいたご意見なども参考にしながら、薬師祭礼保存会とも協議し、祭りを継承・発展させていきたいと考えています。</p>
5	41 ページ～ 44 ページ	<p>中山道みたけ館（郷土館）展示内容について、願興寺の仏像とか、解体修理で発見された羽子板などの本物をもっと展示してリニューアルしたらどうか。</p>	<p>全解体修理完了後の願興寺は、本町が有する観光資源の柱となると考えており、中山道みたけ館における特別展示等の開催も検討して参ります。</p>
6	41 ページ～ 44 ページ	<p>八百津町の新旅足橋がバンジージャンプで成功したように、当町の負の遺産である亜炭鉱跡洞窟</p>	<p>亜炭鉱廃坑に起因する陥没被害は毎年数件発生しており、時の経過とともに危険度は高まっていくといわれています。また、南海ト</p>

		を逆手に取って「亜炭鉱跡の探検」とか銘打ったイベントができないか。	ラフ巨大地震等が発生した際には、広範囲に甚大な被害が想定されることから、現在、国、県の助成を受け地下充填工事を進めているところであり、亜炭鉱廃坑を観光資源として活用するには、安全性の確保が大変難しいことなど、観光資源としての活用は考えておりません。しかし、我が国のエネルギー需要を支え、亜炭産業で栄え賑わった町の歴史を広く伝えていくことは必要と考えており、これまでも炭鉱の町をイメージして作られた商品「元祖みたけとんちゃん」や「たんこうショコラ」を「みたけのええもん」として認定しPRするなど、引き続き様々な形で発信して参りたいと思います。
7	41 ページ～ 44 ページ	あまり世間に知られていない、人斬りイメージのある可児才蔵を無理に観光の目玉に出さなくても良いのではないか。	NHK大河ドラマ「麒麟がくる」を契機に、関ヶ原古戦場記念館をはじめ、岐阜県内では戦国武将関連の観光PRに注力してきており、戦国時代をテーマとした観光需要は高まってきております。御嵩町としても、関ヶ原の戦いで武功を上げた「可児才蔵」を一つの観光資源と捉え、可児才蔵生誕の地として引き続きPRしていきたいと考えております。
8	41 ページ～ 44 ページ	可児みたけインターの周りに可児市は大規模工業団地を造成しているが、御嵩町でも21号バイパスを利用した観光施策を考えるべきではないか。土岐市にできるイオンモールの客をターゲットに「グルメロード21」と銘打った飲食店街ができないものであろうか。21号バイパスをいかに活性化できるかは、御嵩町新庁舎の期待と役割にかかっている。	現在進めている新庁舎等の建設地の選定にあたっては、名鉄御嵩駅、御嶽宿、願興寺、みたけの森、南山公園にも近く、将来的にまちづくりの拠点となる可能性の高さも評価され決定した経緯があることから、観光のみならず、新庁舎等の整備を契機として21号バイパス沿道の活性化に繋がるよう事業推進して参ります。
9	41 ページ～ 44 ページ	広見線を利用した新しいハイキング・散歩コースを立ち上げたらどうだろうか。具体的には、可児駅から電車で御嵩駅まで来て、帰りは可児川沿いに歩いて帰るといったコース。	これまで名鉄広見線活性化を目的に様々な事業を展開しており、沿線住民の皆様には大変ご協力いただいているところです。近年では、みたけ・可児散策きっぷを活用した常設型のイベントも新たに実施した経緯もあることから、今後とも、いつお越しいただいても楽しむことができ、魅力的な印象が残る仕組み作りを展開して参りたいと思います。